

教科	科 目	単位数	学年・クラス
地理歴史	歴史総合	2	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	歴史総合 近代から現代へ
出版社	山川出版
副教材等	ダイアログ歴史総合
出版社	第一学習社

2 学習の目標

1 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
--

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	資料や文章を読み取り、近現代の歴史の出来事や人物を、背景や影響を含めて理解する。
② 思考・判断・表現	当時の社会の発展の背景や問題点を考え、自分なりの歴史観を築いて、よりよい社会の形成に必要なことを表現する。
③ 主体的に学習に取り組む態度	歴史総合の学習に自ら積極的に取り組む。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業の参加	B	B	A	先生からの質問に対する発言など
レポート	B	A	B	学習のまとめや意見の記述内容
定期考査	A	B	C	知識のほか、資料の読み取り問題を含む。

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>歴史の扉</p> <p>近代化と私たち …結びつく世界 …近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 …明治維新と日本の立憲体制</p>	<p>歴史学習の基本的な技能や学び方を身に付ける。</p> <p>18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。</p> <p>18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。</p>
2 学期	<p>近代化と私たち …帝国主義の展開とアジア</p> <p>国際秩序の変化や大衆化と私たち …第一次世界大戦と大衆社会 …戦後の国際秩序と日本の改革</p>	<p>列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。</p> <p>第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。</p> <p>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p>
3 学期	<p>グローバル化と私たち …冷戦と世界経済 …グローバル化する世界 …現代の課題</p>	<p>脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</p> <p>石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</p>